

## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

<b>事業名</b> 一般国道156号 <small>やまとかいりょう</small> 大和改良	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 中部地方整備局			
<b>起終点</b> 自：岐阜県郡上郡大和町 剣 <small>くじょう やまと つるぎ</small> 至：岐阜県郡上郡白鳥町中津屋 <small>くじょう しるとり なかつや</small>		延長  2.6 km			
<b>事業概要</b> 国道156号は岐阜市から富山県高岡市に至る延長約210kmの幹線道路であり、観光・レクリエーションの分野に対して大きな役割を果たしている。大和改良は、このうち岐阜県郡上郡に位置し、災害に強い道路機能の確保、交通安全の確保を目的とした延長約2.6kmの2車線道路である。					
H 元 年度事業化	H 一年度都市計画決定 (H 一年度変更)	H 13 年度用地着手	H 一年度工事着手		
全体事業費	約 40 億円	事業進捗率	21 %	供用済延長	-km
計画交通量	11,200 台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	総費用 (残事業)/事業全体 39 / 48億円		総便益 (残事業)/事業全体 84 / 84 億円	基準年 平成 15 年
	(残事業)	事業費：27/36億円 維持管理費：12/12億円		走行時間短縮便益：79/79億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：2/2億円	
<b>事業の効果等</b> ・災害への備え（災害危険区間及び交通安全上の問題区間の回避） ・災害への備え（緊急輸送道路の位置付けあり） <span style="float: right;">他5項目に該当</span>					
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 平成11年9月と平成14年7月の出水により路面、護岸の流出が発生している為、大和町及び白鳥町の両町長、町議会議長連名より事業促進の要望を受けている。					
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成11年センサス交通量6,093台/日（混雑度0.95） ・平成11年9月の出水にて被災					
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 事業進捗率は21%であり、鋭意用地買収推進中である					
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 平成19年度に事業延長L=2.6 kmの完成2車線を供用予定である。					
<b>施設の構造や工法の変更等</b> 地権者の同意を得ながら、民地側を擁壁から盛土へ構造変更することにより、コスト縮減（0.5億円）を実現している。					
対応方針		事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
<b>事業概要図</b>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。